

私

とうする私

最近いざという時の注意が二つに流

3. 戦後の引寄せについて考えたい。

私五十年程韓国の本通といふ所にいたが

3. 客先のあり海岸の所だ。日本人の商店

街は呉服や洋裁店、毛糸や文具店何と

り皆やさしかつた。ヒセアカシヤの街路

ムアツ通りの中をたぐりした坂を登ると小

とせが校がある、小さい器具の新かろ南

あまるとまの島が平水舟のまわりを

私 2

3. その小島の数はかなりときく。

本陣には母^の見達が信んじていた。

一番上の伯父^はが腰にズリ^をケガラスのえりな

を陸^しやの多^い島をさがし、その島を暫^く取り舞^い償

でアヤエがラス^た提^供して韓^国瑞^州の代理店

に居^るのとすく、何^れハ^ハの店は大きくすた

ッ^フ従業員^も多^から

ニ番の伯父はそ^の海岸^にのりの真^場をもうケ

栗^子の三越^ハ球^草のり^とし^て出^荷して川^に

三番目の伯父は本^真残^りであ^らた。

リ
2
7
ク
一
フ
ゴ
日
本
ハ
引
取
た
伯
父
達
を
見
て

り
ざ
と
い
う
際
私
た
ら
ど
う
す
か
正
証
者
備

報
情
況
判
断
行
動
考
え
左
が
わ
か
ら
な
い

只
日
本
人
は
自
本
に
い
る
が
安
全
と
い
う
弊
が
わ

か
た